

ディスコグラフィー収載

ディスコグラフィー【2018No.102】(HP 収載)

分類 : LP

作曲家 : モーツアルト

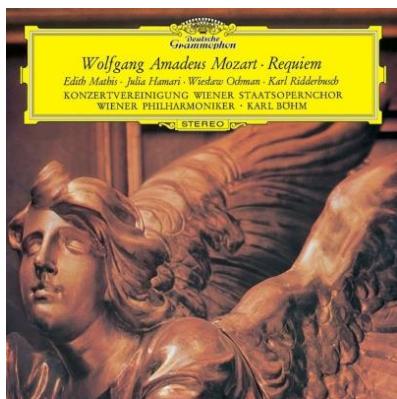
曲名 : レクイエム

演奏 : カール・ベーム指揮ウィーンフィル

発売 : ドイツグラモフォン

No. : 4758517

概要 :



サイトには次のような解説があります。

1971年4月、ムジークフェラインザールにおけるステレオ録音。昨今の古楽風モーツアルト演奏とは正反対のいわゆる重厚長大型の極致を示す有名な演奏です。

「死者のためのミサ曲」にふさわしい、息長く悲痛なその進行には、有無を言わせず聴き手の心を動かす力が確かに備わっており、深みある色彩を湛えるウィーン国立歌劇場合唱団の力唱が、ジュスマイヤー完成部分でさえきわめて雄弁に聴かせてくれるのが印象的。

ソリストも高水準で、エディット・マティスの美しい高音域にユリア・ハマリの清楚な歌唱、カール・リッダーブッシュの深く温かみのある声、ヴィエスワフ・オフマンのスタイルッシュな歌唱と、4人とも実に魅力的な仕上がり。特にマティスの美声は素晴らしい、第1曲から感動的です。

ウィーンフィルも見事です。長年の演奏経験により、モーツアルトを知り尽くした楽員たちが奏でる共感に満ちた演奏からは、やはり大きな伝統の力を感じることができます。通常よりもそうした味わいが濃く感じられるのは、ベームにより拡大されたフォルムの影響でしょうか。細部に至るまで陰影豊かな表現が、ムジークフェラインの響きを得ていっそう説得力を増しているようです。補助マイクのセッティングも効果的だった

のでしょう。ここでは実に深い響きがします。

・モーツアルト：レクイエム 二短調 K.626

エディット・マティス(S)

ユリア・ハマリ(Ms)

ヴィエスワフ・オフマン(T)

カール・リッダーブッシュ(Bs)

ハンス・ハーゼルベック(Org)

ウィーン国立歌劇場合唱連盟

ノルベルト・バラッチュ(合唱指揮)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

カール・ベーム(指揮)

録音時期：1971年4月(セッション)

録音場所：ウィーン、ムジークフェラインザール

プロデューサー：ヴォルフガング・ローゼ

エンジニア：ギュンター・ヘルマンス

My Sonic Signature Gold の活用(11)においては、本盤と他メディアとの聴き比べを行っています。

以上